

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	33° 11' 15.21"	橋梁ID
梶野橋 (フリガナ)カジノバシ	梶野橋線	長崎県北松浦郡小値賀町		経度	129° 03' 07.50"	33.18756,129.05208
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
長崎県小値賀町	2021.8.5	河川	有	一般道	その他	

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

扇精光コンサルタンツ(株) 中川 剛樹

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	II	その他(剥離・鉄筋露出)	写真1,2、主桁01			
主桁						
横桁 床版						
下部構造	II	その他(剥離・鉄筋露出)	写真3,4、基礎01			
支承部						
その他	II	その他(変形・欠損)	写真5,6、防護柵01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~ IV)

定期点検時に記録

(判定区分) (所見等)

II	桁下全体に剥離・鉄筋露出が多く確認された。過年度に確認された損傷状況からの進行は見られたが、損傷の程度は軽微であるため、経過観察を行い、状況に応じて措置を講ずることが望ましい。
----	--

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1988年	5.8	6.7
橋梁形式		
2径間その他、その他(橋台)2基、その他(橋脚)		

終点



起点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	33° 12' 29.50"	橋梁ID
柳橋 (フリガナ)ヤナギバシ	柳牛渡線	長崎県北松浦郡小値賀町		経度	129° 03' 33.40"	33.20819,129.05928
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
長崎県小値賀町	2021.8.5	河川	有	一般道	その他	

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

扇精光コンサルタンツ(株) 中川 剛樹

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	II	その他(剥離・鉄筋露出)	写真1,2、主桁01			
主桁						
横桁						
床版						
下部構造	I					
支承部	I					
その他	III	腐食	写真3,4、防護柵02			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
II	主桁に剥離・鉄筋露出、うき、防護柵に腐食が確認された。過年度に確認された損傷状況からの著しい進行は見られなかったため、経過観察を行い、状況に応じて措置を講ずることが望ましい。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1986年	2.6	9.3
橋梁形式		
中実床版、石積み、レンガ製(橋台)2基		

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	33° 11' 03.60"	橋梁ID
				経度	129° 03' 00.20"	
中道橋 (フリガナ)ナカミチバシ	中道線	長崎県北松浦郡小値賀町				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
長崎県小値賀町	2021.8.5	河川	有	一般道	その他	

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入) 定期点検者 扇精光コンサルタンツ(株) 中川 剛樹

定期点検時に記録				応急措置後に記録		
部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	I				
	横桁					
	床版					
下部構造	I					
支承部	I					
その他	II	その他(変形・欠損)	写真1,2、防護柵01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~ IV)

定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等)
I	防護柵に変形・欠損が確認されたが、損傷は軽微であり、桁下部材についても損傷が確認されず、健全な状態であった。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1979年	3.7	4.7
橋梁形式		
中実床版、重力式橋台2基		

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	33° 12' 21.20"	橋梁ID
				経度	129° 04' 03.50"	33.20589,129.06764
橋の浜水源地橋 (フリガナ)ハシノハマスイゲンチバシ	橋の浜水源地線	長崎県北松浦郡小値賀町				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
長崎県小値賀町	2021.8.5	河川	有	一般道	その他	

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

扇精光コンサルタンツ(株) 中川 剛樹

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	II	その他(剥離・鉄筋露出)	写真1,2,3、主桁01			
主桁						
横桁 床版						
下部構造	II	その他(漏水・遊離石灰)	写真4,5、下部構造01			
支承部	I					
その他	I					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

定期点検時に記録

(判定区分) (所見等)

II	主桁に剥離・鉄筋露出、うき、橋台に漏水・遊離石灰が確認された。過年度に確認された損傷状況から一部進行は見られるが、全体的には著しい進行は見られなかったため、経過観察を行い、状況に応じて措置を講ずることが望ましい。
----	--

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
2000年	6.9	4.4
橋梁形式		
中実床版、逆T式橋台2基		

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	33° 11' 59.80"	橋梁ID
				経度	129° 04' 54.60"	
近浦橋 (フリガナ)チカウラバシ	木場線	長崎県北松浦郡小値賀町前方郷				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
長崎県小値賀町	2021.8.4	河川	有	一般道路	その他	

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入) 定期点検者 扇精光コンサルタンツ(株) 中川 剛樹

定期点検時に記録				応急措置後に記録		
部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	I				
	横桁					
	床版					
下部構造	I					
支承部						
その他	I					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等)
I	頂版にひびわれが確認されたが、部分的で軽微であり、全体として健全な状態であった。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
2019年	3.3	3.6
橋梁形式		
その他、その他(橋台)2基		

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	33° 12' 00.00"	橋梁ID
				経度	129° 04' 53.50"	
木場橋 (フリガナ)コババシ	木場線	長崎県北松浦郡小値賀町				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
長崎県小値賀町	2021.8.4	河川	有	一般道	その他	

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

扇精光コンサルタンツ(株) 中川 剛樹

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	I				
	横桁					
	床版					
下部構造	I					
支承部	I					
その他	I					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分I~IV)

定期点検時に記録

(判定区分) (所見等)

I 過年度と同様、損傷は確認されず健全な状態であった。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
2000年	2.5	3.4
橋梁形式		
中実床版、重力式橋台2基		

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。